

中 企 財 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

中札内村長 田 村 光 義



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出いたします。

〔 総務課長 山崎 恵 司
tel : 0155-67-2311 〕

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○ 事業実施に係る効率化の推進と必要な財源の確保

- 1 北海道の道路整備において効率化を進める上では、早期発注と工事のスピードアップを図り、出来るだけ凍上等による完了後の手戻りが発生しやすい冬期間工事を避けるよう努めること。
- 2 夏季の花植えや除草、冬季の歩道の交差点の除排雪など、道路管理における沿道住民等の協力体制整備のための理解活動を進めること。
- 3 今後は財政支援のない維持管理費用の増大が市町村の財政に重くのしかかり、更に既存道路の補修、再整備には、通行性・安全性の確保だけではなく、景観や環境問題にも配慮が必要となってきたことから、その財源に対する支援の拡充に努めること。
- 4 既存ストックの活用促進を図るため、高速道路の弾力的な料金割引を積極的に進めること。

○ 道路整備計画策定における手法の見直

- 1 道路整備や改修などの計画策定にあたっては、地域の理解が重要であることを踏まえ、沿道住民や行政を巻き込んだワークショップの開催など、住民との協働の取り組みを進め、無駄なコストは極力削減すること。

○現状

- 1 本村は国道236号線及び主要道道清水大樹線のほか、5路線が通過し広域幹線道路として道路網が整備され、産業・経済における物流等に大きな役割を果たしている。

さらに、高規格道路帯広・広尾道路中札内ICの供用が間もなく開始され、大型車両や交通量の増加が見込まれている。

- 2 村道では、国道や道道と一体となった総合交通体系を図りながら、主要幹線道路の補修及び再整備による通行性や安全性の確保、更に景観にも配慮した道路整備に努めている。

○課題

- 1 車両の大型化及び交通量の増加に伴う歩道等の安全施設の整備や狭隘な橋梁や道路の改修が必要となっている。
- 2 村道等における補修・改修整備路線が増加しその財源の確保に苦慮している。
- 3 国道において市街地の活性化や美しい街並みづくりに配慮した道路の再整備が望まれている。
- 4 住民との協働にを基本とした環境・景観に配慮した適切な維持管理に努める必要がある。

北海道における公共交通は、広大な面積を持ちながら人口の密度が低いことなどから、費用対効果の名のもとに切り捨てられてきており、鉄道から民間バスへ、民間バスから市町村独自運営バスへなど、各自治体では道路を基盤とする住民の足の確保に対応を迫られている状況です。そのような中で、車に依存する割合が高くなるのは必然と言えるでしょう。

広大な北海道において「真に必要な道路」とは、都市と地方を結ぶ幹線にとどまらず、そこにアクセスする市町村道等をも含むものであり、地域住民が安心して快適に暮らしていくことが可能となるものでなければならぬと考えます。

また、北海道の有する雄大な自然環境や農村景観の保全にも配慮した道づくりを進める必要があります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道中札内村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
高速ネットワークの整備	・帯広広尾自動車道の整備促進	○期待する効果や評価等 ①高度医療施設への早急・安全な広域アクセス及び農畜産物の輸送コストの縮減など地域経済の産業振興が図られる。 ②北海道横断自動車との接続により道央圏へのアクセス時間が短縮され流通範囲の拡大、観光の振興が図られる。また、本村を含む南十勝をエリアとする「シーニックバイウェイ」構想が進められており広域的な地域の活性化が図られる。 ③交通環境が改善され事故防止に繋がる。	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・災害時等におけるライフラインの確保	①冬期間の救急車による患者の安全な搬送が可能となる。 ②災害時における移動手段の多様化が図られる。	